

令和8年2月10日

公益社団法人 日本地理学会
会長 井田 仁康

次期学習指導要領における小学校社会科地理的内容の充実に関する要望書

提出の趣旨

現代の教育の課題である自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手を育成する観点から、主体的・対話的で深い学びを一層深化する教育課程の改訂が求められています。

「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」（令和6年12月25日文科大臣諮問）では、小学校社会科に関して令和4年度学習指導要領実施状況調査の結果を踏まえて、「地理的環境の学習において基礎的知識や技能が定着する指導」の充実を図ることが指摘されました。小中高の接続・発展を視野に入れば、小学校社会科においては、基礎的知識の習得と地図の技能の育成を段階的系統的に図ることが重要です。また、直接観察する活動は、地域を理解する上で欠かせません。グローバル化に対応した世界の国々についての学習も、小学生が基礎的な世界像を形成するために重要です。これらの充実により社会科授業において設定した課題を追究する力が確かなものになり、深い学びを実現し、社会科において民主的で持続可能な社会の創り手の育成を目指すことができるようになると考えます。

小学校社会科の充実を目指して、以下3点を要望します。

要 望

1. 第3学年の地域調査（野外調査）の確実な実施
2. グローバル化に対応した世界の学習の充実
3. 各学年における教科用図書（地図帳）のさらなる活用

要望の具体と根拠

1. 第3学年の地域調査（野外調査）の確実な実施

「学校の周り（学校区）を現地観察し」の文言を学習指導要領に明記し、野外調査を確実に実施できるよう求めます。

根拠：社会科における地域調査は、生活科におけるまち探検を基礎として、直接観察に加えて地図や資料を活用し、地域の特徴を捉える活動です。地域調査は児童が自分の住む地域を多面的に捉え、社会の一員としての自覚や地域への愛着を育む重要な機会です。また、防災・安全教育の観点からも、学校周辺の実態を直接観察することは重要です。

2. グローバル化に対応した世界の学習の充実

小学校社会科において、児童が様々な場面で世界に出会い、親しむ機会を意識的に設けることを、学習指導要領や解説に記載することを求めます。

根拠：グローバル化の進展により、国際社会の一員としての資質・能力の育成が学校教育の重要課題となっています。小学校で世界の国々や多様な文化を学ぶことは、異文化理解・国際協調・持続可能な社会づくりの基礎となります。他教科でも国際理解や文化の尊重が扱われていますが、社会科で世界の地理的環境や生活様式を体系的に学ぶことで、他教科の学びと連携し、児童の国際的視野や理解をより深めることができます。また、中学校以降の地理・歴史・公民分野への円滑な接続にもつながります。

3. 各学年における教科用図書（地図帳）のさらなる活用

地図帳の活用力を第3学年から第6学年まで段階的に育成することを求めます。

根拠：デジタル地図の普及が進む中でも、紙の地図帳は重要な教材です。紙の地図帳を使うことで、児童は対象地域を俯瞰的に捉え、地図概念や視覚的な世界認識を身につけることができます。第3学年の児童は地図帳で学ぶことに意欲的であり、「探検のツール」として自発的な探究活動が期待されます。また、地図帳は社会科だけでなく他教科や総合的な学習等でも活用でき、学びの幅を広げる役割を果たします。さらに、地図帳を使いこなす力は、日常生活において接する様々な地図情報を主体的に読み解き、判断する力の育成にもつながります。

なお、本要望書の詳細につきましては、別添資料をご参照下さいますようお願い申し上げます。

別添資料

1. 教育課程部会社会・地理歴史・公民ワーキンググループ「社会・地理歴史・公民 WG に関する現状・課題と検討事項」(令和7年9月26日)

「ワーキンググループにおける検討事項・論点」のうち「2. 社会科等に関する課題を踏まえた固有の検討事項」

①「1. 第3学年の地域調査(野外調査)の確実な実施」に関して →地域調査の実施を前提とした学習過程の創造を求めている。

(3)「民主的で持続可能な社会の創り手」の育成に関する課題を踏まえた検討事項
 ●創意工夫を促す、地域の特色を踏まえた課題発見・追究・解決の学習過程を含んだ学習活動のあり方と工夫
 <検討の方向性>
 ◎地域調査を踏まえた地域社会からの社会課題の抽出と、議会等への意見表明など、課題把握、解決への参画機会の設定、方法を含めた理解、それらを通じた参画意識の育成

②「グローバル化に対応した世界の学習の充実」に関して →グローバル化に関する指導内容の充実を求めている。

(2) 社会的諸情勢の変化に伴う新たな課題を踏まえた検討事項
 ●グローバルな協調や競争に関する課題や自然災害、デジタル技術の発展、人口減少社会がもたらす社会構造の変化など複雑化・多様化が進展する社会の状況を踏まえた内容のあり方
 <検討の方向性>
 ◎グローバル化についての内容の一層の充実
 ◎世界の動向とそれらを踏まえた日本のあり方を探究する内容構成の充実

2. 国立教育政策研究所教育課程研究センター「令和4年度 小学校学習指導要領実施状況調査児童質問紙調査結果(社会)」及び「令和4年度 小学校学習指導要領実施状況調査教師オンライン質問調査結果(社会)」

①「1. 第3学年の地域調査(野外調査)の確実な実施」に関して
 【教師調査】「身近な地域の様子」は「興味・関心をもちやすい」が高い割合を示す。

(1) 身近な地域の様子

【全体】(各選択肢を選んだ教師の指導を受けている児童の割合(%)(重みなし))

回答状況	児童が興味・関心をもちやすい	児童が興味・関心をもちにくい	調査時点までに指導していない	合計	
学年	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	人数(人) ^{*1}
第3学年	90.2	9.0	0.9	100.0	234

②「グローバル化に対応した世界の学習の充実」に関して

【児童調査】5年生のもっと勉強したいことは「世界の国々について」が高い割合を示す。

(28) 5年生の社会科を学習して、これからもっと勉強したいと思うことは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

【全体】(各選択肢を選んだ児童の割合(%)(重み付き))

回答状況	世界の国々について	日本の国土の地形や気候について	日本の農業について	日本の水産業について	日本の工業について	日本の情報産業について	自然災害の防止について	日本の森林について	公害の防止について
学年	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
第5学年	52.6	26.2	26.9	26.2	25.3	26.6	51.7	31.4	34.1

③各学年における教科用図書(地図帳)のさらなる活用に関して

【児童調査】第3学年では地図帳で調べることが「好き」とする割合が高い。

(11) 地図帳で調べることが好きですか。

【全体】(各選択肢を選んだ児童の割合(%)(重み付き))

回答状況	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば好きではない	好きではない	あまりやったことがないのでわからない	合計	
学年	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	人数(人) ^{※1}
第3学年	37.0	27.3	14.4	8.3	13.0	100.0	6,014